

[研究会記事] 歴史地震研究会だより 2021年5月～2022年4月

歴史地震研究会幹事会

1. 前号以降の歴史地震研究会の活動(2021年5月～2022年4月)と今後の予定

2021年

- 6月18日(金) 2020年度第6回幹事会(オンライン会議)
- 7月20日(火) 2020年度第7回幹事会(オンライン会議)
- 8月12日(木) 2021年度第1回幹事会(オンライン会議)
- 9月2日(木)～3日(金) 第38回歴史地震研究会(オンライン苦小牧大会)
 - 2日 研発表究会
 - 3日 研発表究会・総会
- 10月7日(木) 2021年度第2回幹事会(オンライン会議)

2022年

- 1月13日(木) 2021年度第3回幹事会(オンライン会議)
- 4月26日(火) 2021年度第4回幹事会(オンライン会議)
- 6月22日(水) 2021年度第5回幹事会(オンライン会議) = 予定
- 9月17日(土)～19日(月) 第39回歴史地震研究会(関西大学高槻ミュージックキャンパス) = 予定

2. 第38回歴史地震研究会 総会議事録

日時：2021年9月3日(金) 13:00～14:00

於：オンライン開催

■定足数確認(大邑総務委員長)

歴史地震研究会会則第20条により、総会は会員の10分の1の実出席を要すると定められている。現在の会員数274名、総会参加会員数は45名、委任状提出35名(代理人を議長とするもの33件、会長とするもの2件)で定足数を満たし、総会は成立する。

■松浦律子会長挨拶

■議長選出

佐竹健治会員を議長に推薦。佐竹健治会員が議長に選出され議長が進行を務める。

第一号議案 2020年度事業報告および決算報告

1. 2020年度事業報告

(1) 研究成果発表会および講演会

①第37回歴史地震研究会(オンライン伊賀大会)の開催について(代理:大邑総務委員長)

総会資料第一号議案1.(1)①により説明。

②第38回歴史地震研究会(苦小牧大会)の開催準備について(西村行事委員長)

総会資料第一号議案1.(1)②により説明。

(2) 会誌の刊行について(行谷編集出版委員長)

『歴史地震』第36号を2020年7月末に発行したことについて総会資料第一号議案1.(2)により説明。

(3) 広報活動について(加納広報委員長)

総会資料第一号議案1.(3)により、ホームページの運用・更新、研究大会について関係学協会への周知、メーリングリストの管理について説明。

(4) その他(大邑総務委員長)

研究会の各事業を行うために、大会中の総会1回と幹事会7回を行ったこと、および社会貢献活動として、3月11日を「防災教育と災害伝承の日」とすることを提唱する運動に参加したことを総会資料第一号議案1.(4)により説明。

2. 2020年度決算報告

(1) 2020年度決算報告について(諸井財政委員長)

総会資料第一号議案2および説明資料の2020年度会計監査報告書、会員の現況及び会費受取状況により、2020年度の収入と支出、オンライン伊賀大会の収支について報告。

(2)会計監査報告（中村監査役、植竹監査役）

2020 年度収支決算報告の監査を行い、予算の執行、帳簿、証票の整理等、正常かつ適正に処理されていることを確認した旨報告。

歴史地震研究会 2020年度 決算報告

項目		予算額	決算額	増減	内訳
収入	2020年度会費	948,000	980,000	32,000	4000円×245名
	2019年度会費	0	32,000	32,000	4000円×8名
	2021年度会費	0	44,000	44,000	4000円×11名
	会誌バックナンバー代	0	24,820	24,820	会誌22部(送料込)
	寄付金	0	20,000	20,000	小磯修一会員
	前年度繰越	2,749,635	2,749,635	0	
	合計	3,697,635	3,850,455	152,820	

支出	2020年度オンライン伊賀大会関係費	50,000	0	▲ 50,000	収支なし
	次年度以降大会準備費	50,000	0	▲ 50,000	収支なし
	歴史地震36号印刷・発送代	765,000	784,740	19,740	437部、振込送料440円込
	同編集費	25,000	10,220	▲ 14,780	編集補助、振込送料220円込
	HP管理費	20,000	9,440	▲ 10,560	振込送料220円込
	会議費	200,000	0	▲ 200,000	オンライン会議のため
	雑費(通信費・文房具購入など)	30,000	18,231	▲ 11,769	資料送付料・切手代・他
	合計	1,140,000	822,631	▲ 317,369	

次年度繰越金	2,557,635	3,027,824	470,189	
--------	-----------	-----------	---------	--

〈第一号議案についての質疑〉

なし

(議長)第一号議案 2020 年度事業計画および決算報告の承認

承認:80 非承認:0 保留:0 第一号議案を承認

第二号議案 会長選出

歴史地震研究会会則第 18 条第 2 項に基づき、3 名以上の会員の推薦を得て、現会長である松浦律子氏から歴史地震研究会会長に立候補の届け出があった。以上、報告する。(大邑総務委員長)

(議長) 松浦律子氏の次期会長就任の承認

承認:80 非承認:0 保留:0 松浦律子氏の会長就任を承認

第三号議案 監査役選出

歴史地震研究会会則第 18 条第 4 項に基づき、3 名以上の会員の推薦を得て、現監査役である中村操氏および植竹富一氏を次期の監査役に推薦するとの届け出があった。以上、報告する。(大邑総務委員長)

(議長) 中村操氏と植竹富一氏の次期監査役就任の承認

承認:80 非承認:0 保留:0 中村操氏と植竹富一氏の監査役就任を承認

■新会長挨拶と役員指名

次期の松浦律子会長より挨拶。2021 年度の役員は、副会長に堀川晴央氏（継続）、幹事は総務委員長に大邑潤三氏（継続）、財政委員長に諸井孝文氏（継続）、広報委員長に室谷智子氏（新任）、行事委員長に林能成氏（新任）、編集出版委員長に加納靖之氏（転任）を指名する。各委員会の運営のために必要数の委員を追って指名する。

■各新幹事・監査役より挨拶

第四号議案 2021 年度事業計画および予算案

1. 2021 年度事業計画案

(1) 研究成果発表会および講演会

- ①第 38 回大会を苫小牧市において開催予定であったが、感染症拡大により公開講演会、懇親会、巡検を中止し、オンライン苫小牧大会と改称して研究発表会と総会をオンラインで実施。(大邑総務委員長)
 - ②2022 年第 39 回大会を高槻市で開催するため準備を行う。(林新行事委員長)
 - ③2023 年第 40 回大会の大会候補地について候補地の選定、日程調整を行う。(大邑総務委員長)
- (2)会誌の刊行(行谷編集出版委員長)
会誌『歴史地震』第 37 号を 2022 年 7 月末頃に発行予定であり、論文を募集する旨と体裁や締め切りについて、総会資料第四号議案 1.(2)により説明
- (3)広報活動(加納広報委員長)
ホームページと会員メーリングリストおよび musha の運営管理を引き続き行うこと、および会員向けメーリングリストへの登録呼びかけを、総会資料第四号議案 1.(3)により説明。
- (4)歴史地震研究に関する業績の表彰(大邑総務委員長)
歴史地震研究会功績賞の授賞対象者の選考を検討する旨、総会資料第四号議案 1.(4)により説明。
- (5)その他(大邑総務委員長)
会の運営のため総会および年間 5 回程度の幹事会を開催する旨、総会資料第四号議案 1.(5)により説明。

2. 2021 年度予算案(諸井財政委員長)

総会資料第四号議案 2 により 2021 年度予算案について説明。

〈第四号議案についての質疑〉

なし

(議長)第四号議案 2021 年度事業計画および予算案の承認

承認:78 非承認:0 保留:2 2021 年度事業計画および予算案を承認

■議長解任

■閉会

3. 幹事会議事録

2020 年度 第 6 回幹事会議事録

場所:Web 会議

日時:2021 年 6 月 18 日(金) 17:00~19:00

出席者:松浦(会長), 堀川(副会長), 諸井(財政), 西村(行事), 加納(広報), 行谷(編集出版), 植竹(監査), 中村(監査), 大邑(総務)書記

1. 入退会者の承認及び 2020 年度会費の受取状況(財政)

【資料 1】入退会者の承認及び 2020 年度会費の受取状況

- ✓ 入会者 6 名, 2020 年度末退会者 0 名, 2020 年度末休会者 1 名, 2020 年度会員特典復活 1 名, 登録内容変更 2 名 →入会者を承認
- ✓ 現段階での会員数 274 名
- ✓ 2020 年度会費受取状況 256 名(会員 274 名のうちの 93%が支払い済み)
- ✓ 未納者 18 名(苫小牧大会発表者は全員納入済)2021 年度会費納入済 9 名
- ✓ 2019 年度未納者 10 名(現在特典停止中・このままだと除名処分になるので別途督促を行う)
- ✓ 7 月初頭に今年度会費の最終督促を実施し納入期限を 7 月 16 日(金)とする
- ✓ 督促状には期限を過ぎた場合 36 号の送付は会員負担になる旨を加える

2. 2021 年苫小牧大会について(行事)

【資料 2】2021 年苫小牧大会準備状況

- ✓ 5 月 18 日にオンライン会議を実施して以下を決定
 - ・学会がオンライン開催の場合も公開講演会は実施したい
 - ・苫小牧市が共催となり受付の手伝いや参加者リストの管理(感染症対応)を行う
 - ・苫小牧市から学会参加者へのアンケート協力の打診がありこれを承諾
 - ・苫小牧市の広報で宣伝を行う
- ✓ 共催について苫小牧市は公開講演会を共催, 厚真町・厚真町教育委員会は大会全体を共催の予定
- ✓ 公開講演会の表題は「北海道胆振東部地震から 3 年～歴史と地層から古地震をさぐる～」で決定

- ✓ 講演者は感染症対応として道内の演者で構成し地元紙などで宣伝を行う
→会員には規約上謝金・交通費が出せないが公開講演会のみになった場合には支払う方針とする
- ✓ 巡検について道路状況を確認し見学場所への立ち入り許可を申請済
- ✓ バスの見積もり, 仕出し弁当, 傷害保険, レンタカー, 巡検資料代などを検討し 30 名で参加費 5000 円を予定
- ✓ 研究発表会については 5 月 31 日に締切り, 43 件の申し込み(内ポスター希望 9 件)があった
- ✓ 口頭発表 34 件, ポスター 9 件でプログラムを作成した
- ✓ 全体周知は 6 月下旬に HP, ML, musha, 地震学会 NL で行う

(議論・決定事項)

- ✓ 研究会がオンラインになった場合, 公開講演会との調整でプログラム構成に工夫が必要
- ✓ 講演会のオンライン配信は LIVE(ハイブリッド)ではなく録画でも良いのではないか(LIVE の場合施設等のネット回線の状況に影響される)
- ✓ 公開講演会名の地震名に「北海道」を入れることとする
- ✓ 開催方法の判断は状況を見て 7 月 20 日に行い会員に速やかに通知することとする
(オンライン開催となり発表を辞退する会員は要旨を提出する必要がない)
→第 2 報には 20 日に判断する旨を記載する
- ✓ 予稿集の印刷については前田印刷に確認する(オンラインの場合は印刷不要)
- ✓ 密集を避ける意味でもバスは大きめのものを用意することとし, 参加申し込みが多かった場合は再検討する

3. 「歴史地震」の編集について (編集出版)

【資料 3】『歴史地震』の編集について

- ✓ 第 36 号の編集作業はほぼ完了し最終確認中
- ✓ 論説 11, 資料 5, 報告 2, 要旨 33, 総ページ数 295
- ✓ 今後の予定について説明し送付先リストの用意などを確認
- ✓ 同封の挨拶文にメールアドレス等を研究会に知らせてほしい旨を記載することを決定(現況確認)
- ✓ 前回決定した発行部数(430 部), 著者贈呈用の扱い, 会費未納者への送付方法について確認

4. 広報活動について (広報)

【資料 4】(広報活動について)

- ✓ 前回からの作業について説明
- ✓ 苫小牧大会申し込みフォームについて説明
→テキストメールでは Google フォームから送られてくる控えメールの体裁が崩れるのでスクリーンショットを保存してほしい旨記載する
- ✓ 第 2 報について準備している旨報告
- ✓ 現況確認の方法についてはメールと共に会誌に同封の挨拶文で会員に周知することを確認

5. その他

- ✓ 会長および幹事(委員)の交代について相談
- ✓ 2022 年高槻大会の案について代理で総務が説明
→苫小牧大会がオンライン開催になった場合でも 2022 年は高槻で開催する方針を決定
- ✓ 前回決定した会則に会費の納入期限を明記する件について検討
→逆効果になることや期限後に納入した場合の対応などを決定する必要があるため具体的な期限の明記は見送ることを決定(会則の変更はしない)

○次回幹事会は 7 月開催の予定 (Web 開催)

2020 年度 第 7 回幹事会議事録

場所:Web 会議

日時:2021 年 7 月 20 日(火) 17:00~19:00

出席者:松浦(会長), 堀川(副会長), 諸井(財政), 西村(行事), 加納(広報), 行谷(編集出版), 植竹(監査), 中村(監査), 大邑(総務)書記

1. 入退会者の承認及び 2020 年度会費の受取状況 (財政)

【資料 1】入退会者の承認及び 2020 年度会費の受取状況

- ✓ 入会者 0 名, 2020 年度末退会者 1 名, 2020 年度末休会者 0 名, 2020 年度会員特典復活 2 名, 登録内容変更 2 名, 2020 年度休会 1 名(特典中止中につき会員数に変化なし) →入会者を承認
- ✓ 現段階での会員数 267 名(特典停止中の会員を含まず)

- ✓ 2020 年度会費受取状況 267 名(会員 267 名のうちの 97%が支払い済み)
- ✓ 未納者 9 名, 2021 年度会費納入済 10 名
- ✓ 2019 年度未納者 7 名(来年度除名処分)
- ✓ 2020 年度入退会者まとめ(入会 9 名, 復活 8 名, 休会 2 名, 退会 3 名, 年度末休会 1 名, 未納 9 名, 会員特典停止 2021 年度除名見込み 7 名, 2021 年度入会予定 1 名)

2. 「歴史地震」の編集について(編集出版)

【資料 2】『歴史地震』の編集について

- ✓ 36 号は発行部数 437 部(順調に印刷中)
- ✓ 会員向け 267 部, 図書館向け 122 部の送付先リストを前田印刷に提出
- ✓ 残部 48 部は総務(大邑)に送るように手配済み
- ✓ 今後の予定について説明(30 日に発送)
- ✓ 冊数と送料が確定したため見積書を送付してもらう予定
 - 時間がないので早急に直接財政宛に送ってもらうようお願いする
- ✓ 残部 48 部のうち 7 部が著者贈呈用のため代金の振込を確認して総務から送付
- ✓ 宛先不明で前田印刷に戻ってきた分は 8 月上旬をめどにまとめ振興会から送付
- ✓ 今回カラーページは 4 ページあり 1 ページあたり 22,000 円?を請求する必要がある
 - 例年, 編集委員から請求している(請求書が必要な場合もある)
 - 金額を確定する必要がある

3. 2021 年苦小牧大会の開催方法について検討(行事)

- ✓ 現在, 一般講演会について苦小牧市とやりとりしており, 広報の原稿, チラシ(裏に申込書)を用意してもらえる予定
- ✓ 公開講演会は実施できそうな情勢である
- ✓ 巡見は難しい状況(集団でのバス乗車, 昼食等のリスク)
- ✓ 懇親会なし, 巡見なし, 外食自粛という条件で現地開催するメリット(会員にとって)はあるか
- ✓ 夜の飲食について研究会として会員をコントロールするのは難しい
 - 公開講演会は現地で実施, 研究発表会はオンライン開催とすることに決定
 - オンライン開催に変更の旨を本幹事会后すみやかに会員に通知
 - 移動がないので 2~3 日の 2 日間で実施(大まかには 4 日の午前を 2 日の午前に持ってくる形)
 - オンライン開催用にプログラム案(暫定版)を作成し掲載(近日中)
 - 微調整は適宜おこなう
 - 予稿集は印刷しない
 - 公開講演会は録画し後日会員に配信する形とする(回線の関係)

4. その他

- ✓ 幹事(委員)の交代について確認

○次回幹事会は 8 月上旬の予定 (Web 開催)

2021 年度 第 2 回幹事会議事録

場所:Web 会議

日時:2021 年 10 月 7 日(木) 17:00~19:00

出席者:松浦(会長), 堀川(副会長), 諸井(財政), 西村(旧行事), 林(行事), 加納(旧広報・編集出版), 室谷(新広報), 行谷(旧編集出版), 植竹(監査), 中村(監査), 大邑(総務)書記

1. 『歴史地震』の編集について(編集出版)

【資料 1】『歴史地震』の編集について

- ✓ 新編集出版委員長へ引き継ぎを 10 月中に行い 35 号, 36 号のデータを引き渡す
- ✓ 36 号のカラーチャージ代については入金済み
- ✓ 33 号は現在モノクロ版が web で公開されているがカラー版に差し替えて良いか
 - カラーの最終版データがすべて揃っていないので確認の上, カラー化する意味があり差し替え可能なものから随時変更を行う

2. 入退会者の承認及び 2021 年度会費の受取状況(財政)

【資料 2】入退会者の承認及び 2021 年度会費の受取状況

- ✓ 入退会者数(2021 年 8 月 12 日~10 月 6 日):新規入会者 4 名, 2021 年度末退会者 2 名, 2021 年度末休会者 0 名,

- 2021 年度会員特典復活 1 名, 登録内容変更 6 名, →入会者を承認
- ✓ 現段階での会員数 274 名(特典停止中の会員を含まず)
- ✓ 2021 年度会費受取状況 215 名(未納 59 名)
- ✓ 2020 年度会費 270 名(2021 年度特典停止 6 名)
- ✓ 2022 年度会費 1 名
- ✓ その他, 次年度以降の大会開催につきハイブリット開催を希望するメールがあった
- ✓ 入会申請書の様式変更について
→性別欄(無回答を追加), 住所(送付先), 職業, メールアドレス 2 件等, その他必要な部分について検討変更をおこなう(広報と財政で検討)
- ✓ 登録内容変更届(仮)を作成する

3. 役員および委員名簿の確認 (総務)

【資料 3】(新役員・委員名簿)

- ✓ 役員・委員について新年度体制を確認
- ✓ 11 月 1 日に HP の役員体制を変更する
- ✓ 委嘱状の到達状況について確認

4. 2021 年オンライン苦小牧大会のまとめ (旧行事)

- ✓ 大会後 Zoom 画面のスクリーンショットを大会サイトにアップし参加者に連絡した
- ✓ 苦小牧市と厚真町にメールと電話でお礼の挨拶と来年の公開講演会(来年)について連絡した
- ✓ 大会セット(箱 1 個)を新行事に送付する
- ✓ 費用の立替, キャンセル料等の確認
- ✓ 参加者数などについて確認(記録として) →Zoom のログで確認

5. 2021 年高槻大会について (新行事)

- ✓ 行事委員を決定した
- ✓ 会場予約等は半年前から可能になる
- ✓ 開催方法(ハイブリッド・配信のみ), 予稿集の印刷についても追々決定していきたい

6. 2023 年大会の候補地(関東)について

- ✓ 高槻大会までには決定しなければならない
- ✓ 施設の予約が何ヶ月前から可能かにもよる
- ✓ 会場案: 東京(地震研・科博), 鎌倉, 横浜, 小田原(三の丸ホール)
- ✓ 行事委員長を誰にするかも決定する必要がある
- ✓ ハイブリッドで行う場合, ネット環境などの面で新しい施設の方が良い
- ✓ 小田原(三の丸ホール)を有力候補とし周辺地域の会員などに連絡を試みる

7. 広報活動について (旧広報)

【資料 4】(広報資料)

- ✓ メーリングリスト・ホームページ更新(苦小牧→高槻・原稿募集案内等)を行っている
- ✓ 今後, 35 号 PDF の掲載, 連絡先の確認, 登録内容の変更等を行う
- ✓ 新行事への引き継ぎを行う

8. その他

- ✓ 国会図書館へのアンケートに回答した

○次回幹事会は 12 月もしくは 1 月の予定 (Web 開催)

2021 年度 第 3 回幹事会議事録

場所:Web 会議

日時:2022 年 1 月 13 日(木) 18:00~19:00

出席者:松浦(会長), 堀川(副会長), 諸井(財政), 林(行事), 加納(編集出版), 室谷(広報), 植竹(監査), 中村(監査), 大邑(総務)
書記

1. 入退会者の承認及び 2021 年度会費の受取状況 (財政)

【資料 1】入退会者の承認及び 2021 年度会費の受取状況

- ✓ 前回幹事会(10月)から入退会者なし(会員数 274 名), 登録内容変更 3 名
- ✓ 2021 年度会費受取状況 232 名(未納 42 名督促状を送付する予定)
- ✓ 2020 年度会費 270 名(2021 年度特典停止 6 名), 2022 年度会費 1 名納入済

2. 「歴史地震」の編集について (編集出版)

【資料 2】「歴史地震」の編集について

- ✓ 現在 1 回目の査読がもうすぐ完了する(例年通りのスケジュール)
- ✓ 「論説」が少ないのでページ数が少なくなる予定
- ✓ 11 月〆切後に投稿があったものについては次号にまわす
- ✓ 委員会を開きスケジュールや内規についての確認, 委員の交代増員について相談した

3. 2021 年高槻大会について (新行事)

- ✓ 会場や巡検先の申込みがあるのでタイミングを逃さないようにする
- ✓ 巡検先について見学の手配について調整を行い懇親会については 5・6 月に方針を出したい
- ✓ 会場費は事後の支払いとなる
- ✓ 地震学会のメールニュースに大会案内を掲載することに決定

4. 2023 年大会の候補地 (関東) について

- ✓ 神奈川県西部を有力候補として進める
- ✓ 大正関東地震 100 周年なので他学協会とのコラボもありえるのではないかと

5. 広報活動について (広報)

【資料 4】 (広報資料)

- ✓ 前広報幹事から引き継ぎ作業を行った
- ✓ 各メーリングリストについて登録・削除等の対応を行っている
- ✓ 入会届と会員情報変更届のフォーマットについてこの場で最終確認しホームページに記載する
→各フォーマットについて承認
- ✓ 古い大会のメーリングリストがまだ存在するので削除する

6. その他

- ✓ アンケートの依頼について

○次回幹事会は 4 月 26 日(火)(仮)の予定 (Web 開催)

2021 年度 第 4 回幹事会議事録

場所:オンライン会議

日時:2022 年 4 月 26 日(火) 17:00~18:40

出席者:松浦(会長), 堀川(副会長), 諸井(財政), 林(行事), 加納(編集出版), 室谷(広報), 植竹(監査), 中村(監査), 大邑(総務)
書記

1. 入退会者の承認及び 2021 年度会費の受取状況 (2022 年 1 月 13 日~2022 年 4 月 25 日) (財政)

- ✓ 新規入会者なし, 2021 年度末退会者 1 名, 2021 年度休会者, 特典停止からの復活ともになし
→新規入会者(幹事会当日申請次回報告分)を承認(現会員総数 275 名内 3 名は 2021 年度末退会)
- ✓ 登録内容変更 4 名(幹事会当日申請者 1 名については次回報告)
- ✓ 2021 年度会費受取状況 237 名(未納 37 名については近日督促する予定)
- ✓ 2020 年度会費 270 名(2021 年度特典停止 6 名), 2022 年度会費 1 名納入済 →休会者について検討

2. 「歴史地震」の編集について (編集出版)

- ✓ 37 号:論説 7, 資料 5, 報告 2, 訂正 1, 要旨 31, 総ページ数 190(見込み)
- ✓ 現在受理原稿を著者校正中, 未受理のものは 4 月末をタイムリミットとする
- ✓ 今後の編集作業予定について説明
- ✓ 発行の見積もりについて相談(昨年並だと 75 万円程度)→前田印刷に発注することを承認
- ✓ 発行部数について相談 →保管分を削減する方向で検討(案:保管数 35→20)
- ✓ 会員・図書館の送付先リストを 7 月 13 日までに前田印刷に提出
- ✓ 著者追加購入希望分の送付手順について確認

3. 2022 年高槻大会準備状況について（行事）

- ✓ 会場は予約済(2 日間 1 万円程度)定員 100 名程度
- ✓ 広報、講演受付、プログラム編成、各種申込みの予定について確認
- ✓ 巡検の行程案、昼食について説明(巡検は下見と見学予約を完了) →昼食について検討
- ✓ 懇親会については 7 月初旬に検討の予定
- ✓ 完全オンラインへの切り替え判断のタイミング、ハイブリッド(配信のみ)などについて検討
- ✓ 予稿の締め切り、印刷について検討 →予稿集については印刷せず PDF にすることを決定

4. 功績賞について

- ✓ 幹事会前に開催した功績賞選考委員会において 2022 年については選考しないことを決定

5. 広報活動について（広報）

- ✓ 各メーリングリストの登録・編集・作成を実施
- ✓ ホームページ役員委員名簿の更新、議事録掲載、諸手続きページの更新、研究大会関係の掲載
- ✓ webmaster 宛メールへの対応(執筆依頼、アンケート依頼、論文紹介の依頼ほか)
- ✓ 高槻大会の広報を依頼(地震学会メールニュース、各学術団体へ依頼)
- ✓ 今後、研究会ホームページの更新、高槻大会の広報(郵送による依頼など)を行う

6. 2023 年大会の候補地(関東)について

- ✓ 小田原市で開催する方向で準備を進めている状況

○次回幹事会は 6 月中旬の予定（オンライン開催）

4. 第 39 回歴史地震研究会(2022 年 9 月 17～19 日, 高槻大会)関係

第 39 回歴史地震研究会申し込み案内

■ 第 39 回歴史地震研究会(高槻大会)のお知らせ(第 1 報)

歴史地震研究会では、以下の日程で第 39 回歴史地震研究会(高槻大会)を開催することになりました。講演申し込みの締め切りは 5 月 31 日(火)、研究会・懇親会・巡検の参加申し込みの締め切りは 7 月 31 日(日)です。

1. 場所

関西大学高槻ミュージアムキャンパス
大阪府高槻市白梅町 7-1
<https://www.kansai-u.ac.jp/ja/about/campus/#takatsukimuse>

2. 日程および参加費

2022 年 9 月 17 日(土)～19 日(月)の 3 日間
17 日:研究会・懇親会
18 日:研究会・総会
19 日:巡検

- ・研究発表会は大会参加費として会員 2,000 円、非会員 4,000 円を徴収する予定です。
- ・懇親会を高槻市内で開催する予定です。

3. 巡検

行き先(予定):京都大学阿武山地震観測所、今城塚古墳の地震地すべり痕跡、有馬・高槻断層の横ずれ変位痕跡、今城塚古代歴史館、など。

定員:40 名程度

4. 講演申し込み

講演申し込みの締め切りは 5 月 31 日(火)です。申し込みは下記 Web フォーム、もしくは発表者(共同研究の場合は全員の名前と発表者名)・題名・発表形式(口頭・ポスター・どちらでもよい、のいずれか)を明記の上、5 月 31 日(火)までに行事委員会あてに電子メール・郵送のいずれかでお申し込みください。

・Web フォームの場合:<https://forms.gle/X1Rp8XYtz836YF3V8>

・電子メールの場合:rekishi2022@histeq.jp

第 39 回歴史地震研究会行事委員会

林 能成(委員長)、西村裕一、小松原琢、服部健太郎、木戸崇之、大邑潤三

・郵送の場合:

〒113-0032 東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学 地震研究所

歴史地震研究会行事委員会 大邑潤三 宛

5. 研究会・懇親会・巡検等の参加申し込み

研究会・懇親会・巡検の参加申し込みは 7 月 31 日(日)です。申し込みは下記 Web フォーム、もしくは 4.の行事委員会あてに電子メール・郵送のいずれかでお申し込みください。

・Web フォームの場合：<https://forms.gle/YRVY5cmkXAuZUhmK7>

・巡検の参加申し込みにあたっては、保険加入のため、氏名のほかに住所・生年月日・電話番号(携帯可)を後日お問い合わせします。

・巡検の参加受付は、会員及び研究発表会参加者を優先します。

6. その他

・発表形式はご意向に添えない場合があります。

・ホテル等宿泊につきましては、各自でご予約ください。

・新型コロナウイルスの感染拡大状況によって、変更になる場合があります。

・大会の情報は研究会ウェブサイトの「研究会開催情報」上で随時更新いたします。

<http://www.histeq.jp/kenkyukai.html>

5. 各種お知らせ・資料

『歴史地震』原稿募集のお知らせ

会誌『歴史地震』では、通年、投稿を受け付けておりますが、2023 年 7 月末発行予定の次号(第 38 号)に掲載希望の方は、2022 年 11 月 30 日必着でご投稿をお願いいたします。なお、投稿を受付済みで未掲載の記事は、次号への掲載希望として取り扱っております。

1. 募集原稿の内容

『歴史地震』は、歴史上の地震・火山噴火ならびにそれに関連する諸現象・諸問題を対象とする記事で構成し、記事の種別として、論説、資料、講演要旨、報告、紹介を取り扱います。頁数の上限は、論説と資料は 20 頁、講演要旨は 1 頁、報告と紹介は 4 頁ですが、超過が認められる場合もあります。編集出版委員会では、第 38 号を次の記事を中心に構成する方針です。

(1) 2022 年 9 月の第 39 回歴史地震研究会での発表内容に関連する記事

(2) 昨年までの研究会で発表された内容、あるいはそのほかのオリジナルな内容に関する記事

(3) 2022 年 9 月の第 39 回歴史地震研究会の講演要旨集に掲載された講演要旨

これらのうち、(1)、(2)の投稿をお待ちしています。

2. 編集体制と編集方針

『歴史地震』は以下の編集体制・方針を取っております。

(1) 編集出版委員会で編集作業を進めます。

(2) 論説および資料については、査読制を取り入れていますので、基準を満たさない記事は掲載できません。少なくとも 1 名の査読者が原稿を読んで意見を著者にフィードバックし、不備を指摘・訂正していただきます。

(3) 原稿を作成する標準的な体裁『歴史地震』の標準書式』を定めています。最新の標準書式に従った Word ファイルが歴史地震研究会のウェブサイト(<http://www.histeq.jp/kaishi.html>)からダウンロードできますので、このファイルを書き換える形で原稿を準備されることをお奨めします。

(4) 電子ファイルでの投稿を奨励します。少なくとも本文は電子ファイル(フロッピーディスク等あるいはメール)で投稿していただくと、編集作業が効率的に行えますので、ご協力をお願いいたします。

(5) 「投稿シート」(次頁に記載)に必要事項をご記入のうえ、このシートとともにご投稿ください。最新の様式の「投稿シート」は上記ウェブサイトからもダウンロードできます。

(6) 最終原稿は、印刷物としての『歴史地震』のほか、PDF 版が歴史地震研究会のウェブサイトでオンラインジャーナルとしても一般に公開されます。原則として、印刷物はモノクロで刊行します。

(7) 掲載料の頁単価は、モノクロページが 1,500 円、口絵のカラーページが 23,000 円です(予定)。ただし、投稿者が会員の場合は、1.に示した頁数までのモノクロページについては、無料です。

(8) その他詳細は、編集規定をご覧ください。

3. 投稿先

・電子メールでご投稿の場合：histeq@histeq.jp

※ 添付ファイルが 5MB 以上の大きさになる場合には、一般的なファイル送信サービスをご利用頂くか原稿提出窓口(histeq@histeq.jp)までご相談下さい。

※ 原稿を受領した場合は、必ずその旨の返信をしております。一週間以上経過しても受領の連絡がない場合には、何らかの原因でファイルを受け取ることができていない可能性がありますので、お手数ですが、上記アドレスまで再度お問い合わせください。

・郵送でご投稿の場合：〒101-0064 千代田区神田猿樂町 1-5-18 千代田ビル 8F

地震予知総合研究振興会内歴史地震研究会編集出版委員会 宛

※ 郵送で投稿する場合は、確認のため、上記電子メールアドレスにも連絡して下さい。

・ご投稿の際には、忘れずに「投稿シート」をご提出ください。

『歴史地震』 投稿シート

ver.202006

<基本情報>

記事の種類	論説・資料・報告・紹介 ※ 論説および資料の場合は、査読の対象となります。	
記事タイトル		
著者		
投稿者(連絡責任者)	氏名	
	所属	
	郵便番号・住所	〒
	電話番号	
	電子メールアドレス	

<質問・チェック事項>

記事について

(1) 記事の内容は過去の歴史地震研究会で発表した内容ですか？	はい・いいえ
・「はい」の場合、発表年・開催場所・発表番号(O-12 など)をご記入ください	
※ 発表済の場合は、編集出版委員会の判断で、通常2名以上の査読者を1名とすることがあります(論説、資料の場合)。	

体裁・形式について

(3) 原稿は、歴史地震研究会ウェブサイトからダウンロードした標準書式のWord ファイルを書き換えて作成したものですか？	はい・いいえ
<p>・「いいえ」の場合、以下の標準書式に従っていることを十分に確認してください。標準書式からのずれが大きい原稿は、編集出版作業に手間がかかりすぎるため、受け付けられないことがあります。</p> <p><input type="checkbox"/> A4 サイズ, 左右の余白各2cm, 上下の余白各2.5cm</p> <p><input type="checkbox"/> フォントは和文が明朝体, 英文がTimes</p> <p><input type="checkbox"/> 文字サイズは, 和文タイトル16 pt , 英文タイトル12pt, 所属・著者名10.5pt, 英文要旨10.5pt.</p> <p><input type="checkbox"/> 著者の連絡先は和文の所属に脚注として加える。</p> <p><input type="checkbox"/> キーワードは英文要旨の次の行に Keywords: xxxx, www, zzz. のように記入する。</p> <p><input type="checkbox"/> キーワードの下でセクションを切り替え, 本文は2 段組とする。段の横幅は8cm, 段の間は7mm 程度, 1 行22 文字, 1 ページ45 行とする。</p> <p><input type="checkbox"/> 本文の文字サイズはすべて10.5pt .</p>	
(4) 記事の種類が「論説」あるいは「資料」の場合、英文の表題, 英文の著者名・所属, 英文要旨(200 語程度), 英文キーワードを備えていますか？	はい・いいえ・該当しない
(5) 句読点は「, 」と「. 」で統一されていますか？ ※ されていない場合は検索・置換ツールを使って統一してください	はい・いいえ

(6) 本文中で和暦と西暦が混同されるおそれはないですか？ ※ 歴史地震研究会では、混同を避けるため、和暦には漢数字(宝永四年十月四日など)、西暦にはアラビア数字(1707年10月28日など)を使うことを推奨しています。	ない・ある
(7) 西暦1582年以前の西暦は(グレゴリオ暦ではなく)ユリウス暦を用いていますか？	はい・いいえ・該当しない
・「いいえ」の場合、使っている暦の種類が明記されていますか？	はい・いいえ

図・写真について

(8) 既公表の文献(自分で公表したものも含む)や機関・個人が所蔵している史料から転載した図や写真はありますか？	はい・いいえ
・「はい」の場合、出版社・学会や機関、個人に転載許可をとっていますか？	はい・いいえ
(9) 製本(印刷)版でカラー図・写真の掲載を希望しますか？	はい・検討中・いいえ
・「はい」もしくは「検討中」の場合、希望する図・写真の番号をご記入ください	
<p>※ カラー図を希望された場合、本文中にはモノクロの図が掲載され、そのカラー版が口絵として巻頭に再掲される格好となります。モノクロとカラーで図の内容・サイズを変更することはできません。なお、カラー頁料金が追加の掲載料が発生します。</p> <p>※ 歴史地震研究会ウェブサイトで公開されるオンラインジャーナル(PDF版)では、希望の有無に関わらず、フルカラーとなります。</p>	
(10) カラー掲載しない図について、モノクロ印刷に必要な情報が判読・識別可能ですか？	はい・いいえ・図はない